



# 越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵

R I 会長テーマ 奉仕を通じて平和を

クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」

平成24年9月27日 第1877回例会

## ロータリーソング斉唱

## ゲスト・ビジター紹介

第8グループガバナー補佐 越谷北 RC 関森 初義 様  
越谷南 RC 米山奨学生 馬 ジュントウ 様

## 会長挨拶

## 岩淵秀一会長

先日、9月15日越谷ツインシティビル竣功式に、浅水さんと参加して来ました。

そして、昨年第8グループ5クラブで寄贈した、越谷駅前時計塔の除幕式に参加しました。今後市民の皆さんの為に役に立つ事と思います。

今日は引き続き越谷の歴史のお話を致します。

越ヶ谷町の続きになります。

越ヶ谷町は、江戸時代からの独立した町でしたが、明治22年に大沢町と組合町を作りました。その後、様々な理由から明治35年に分離し、再び越ヶ谷町と大沢町に分かれました。



そして昭和29年越ヶ谷・大沢をはじめ二町八か村が合併し、越ヶ谷のケをとって越谷町と名付けました。現在も越ヶ谷町は、越ヶ谷地区と呼ばれています。さて越ヶ谷町は奥州(おうしゅう)街道(後の日光街道)の宿場として新たに誕生した町です。

はじめ、町内は本町と新町(しんまち)とに分けられましたが、この間に越ヶ谷郷のものの土豪(在地の武士) 会田出羽が所有した土地あったので、そこをとくに中町と名付け、三町に区分されたと言われていました。

このほか、越ヶ谷には袋町・観音横丁・御殿・新道(しんみち)などと名付けられた所があります。観音横丁は、ここを通る道がもと荒川(後の元荒川)の土手づたいに通じる古いころの奥州街道で、ここから土手をはなれ越ヶ谷町の中町に読いでいました。ところが、草加から越ヶ谷に至る日光街道(現県道足立越谷線)が新たにできたため、古くからの土手づたいの道は横道になったわけです。そして、この辺りは横道の町、すなわち横町(よこちょう)と呼ばれるようになりました。そしてこの横道にそって観音堂があったので観音横町と呼ばれたのです。

また袋町は本町と中町の東うらの地にあたりますが、このあたりは元荒川に袋のように囲まれた行き止まりのちでしたので、袋町と呼ばれました。この袋町から元荒川にかけては、

今でも、御殿という地名が残されています。それは徳川家康が今からおよそ380年前の慶長9年(1604)に将軍家の別荘である越ヶ谷御殿を建てた所だからです。

もこの地域は越ヶ谷郷の土豪会田出羽家の屋敷地の一であった所で、ここには頭(こうべ)塚(づか)とか馬洗場(うまあらいば)とか呼ばれた場所がありました。

馬洗場とは元荒川が右に曲がる角の手前の川原で、もとはここに石畳(いしだたみ)が敷かれていて会田出羽が馬を洗った場所といわれます。

頭(こうべ)塚(づか)は別名頭山(つむりやま)とも、ちょぴり山ともよばれていましたが、ここは会田出羽が、掟(おきて)に背(そむ)いた家来や住民を手打(てう)ちにして、その死骸(しがい)を埋め(う)た場所であったとも伝えられています。

参考文献 越谷の歴史物語(第3集)

## 幹事報告

## 染谷宗一幹事

1. 地区より(ガバナーエレクト 渡邊和良氏)地区役員推薦の願いが来ております。
2. 地区よりロータリーリーダーシップ研究会(RLI)パートIIの案内が来ております。
3. ロータリーの友からお知らせ(2012年10月号)が来ております。



尚、詳細は染谷幹事までお願い致します。

## 表彰等

### IM実行委員委嘱状授与



小林光蔵会員



中島頼光会員

## 委員会報告等

◇地区新世代部門

大熊 進会員

チャリティーバザーについて。



◇社会奉仕委員会 中村幸江委員長  
交通安全パレード説明会について。

◇吉田豊治パストガバナー  
会員増強について。

## ゲスト・ビジターご挨拶

第8グループガバナー補佐 越谷北 RC

関森 初義 様

会員とのコミュニケーションについて。

## セミナー報告

奉仕プロジェクト部門セミナー

小林光蔵会員

9月8日奉仕プロジェクト部門セミナーへ行ってきました。

岩淵会長初め二川会員、野呂田会員、私、小林の4名で参加しました。

上尾コミュニティーセンターホールが会場でした。1時間30分かかりましたが(いや〜遠い所だなあ)、皆さん真面目で会場は超満員でした。

点鐘で始まり、社会、職業、国際各地区委員長さんの出番があり、田中ガバナーと挨拶に移って参りました。

ロータリーをよく知れば、ロータリーがいやに面白なり、一人でも多くのロータリアンに研修に参加して頂き、意義ある奉仕無くしてクラブの発展なし。地区はクラブの活性化が役割だそうです。

ガバナーは先日、南三陸町へ行って来たそうです。昨年の支援検証と新たな支援金を渡すために、住民の要望に応じて、ロータリー財団の東日本復興プロジェクト資金とロータリークラブの義捐金を使って、集会場建設がなされたそうです。住民のほうは震災が起こるまでは、交通標語でロータリーマークを見ては、どのような団体かわからずにいたそうです。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕は奉仕を通じて平和を実現するために不可欠な活動であり、奉仕とはたまにする事でもなく、思いついてする事でもなく、生き方であると田中作治RI会長がおっしゃっていたそうです。

尾花 氏 (職業奉仕部門委員長)

難しいことをやさしく。やさしいことを深く。深いことを楽しく。

ロータリアンが自らの職業を語ることは職業奉仕である。ロータリアンが学生に就職支援活動をするのは職業奉仕である。

ロータリアンが自ら経営理念を語ることは職業奉仕である。ロータリアンがロータリーで学んだことを語ることは職業奉仕である。

要するに、自分の職業を相手に伝え、理解してもらう。または、サービスすることが優先する(損はお金、得は信用)

私は二人の息子に紐をつけて、使うお金はいくら使ってもいいと言ってきました。あとで紐を引くと自分のもとへ帰ってくるからです。

寺門 氏 (社会奉仕部門委員長)

職業奉仕を柱として、社会奉仕と国際奉仕と位置付けるならば、奉仕の場所は地域と世界ということになるそうです。

そのうち地域に奉仕するのが社会奉仕である。高齢化社会の影響から介護福祉も大きな地域の社会奉仕の分野になっており、子供たち、新世代を巻き込んだ地域社会教育も新しい社会奉仕の分野になっているそうです。

うちのクラブでも市民祭りのミニ SL、またサッカー大会と、子供たち、新世代を巻き込んだイベントは良い事業だと私は思っている。

鈴木 氏 (国際奉仕部門委員長)

国際奉仕の目指していることは、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

田中作治 RI 会長は「奉仕を通じて平和を」、田中尚徳ガバナーは「ロータリーで素晴らしい出会いを」をテーマとし、国際奉仕部門は二つのテーマの下、国内外ロータリアン皆様との多くの出会いから多様なプロジェクトを通じて、交流そして奉仕し、新たなロータリーの魅力を発見してほしい。

基調講演 (大田先生)

誰でもできる奉仕活動の原点

介護予防の二つの線

孤立支払機を避けるために(見守り機能を高める)

① ネットを重ねる

② ネットにかからない人を気にかける

災害で分かったこと

① 身近にいろいろの専門的な技術のある人がたくさんいること

② その人たちと連絡が取りあえること

守るも攻めるもこの一線

① 立っていられる→膝立ちが出来る

② 座っていられる→寝たきり

最後まで人間らしい生き方を!

いつでも→どこでも→ひとりでも→1日1m/m・1g

忘れずにシルバーリハビリ体操

ロータリー財団部門セミナー

池田玄一会員

部門セミナーは、7月7日(土)午後1時15分より「彩の国すこやかプラザ」で開催されました。石野副委員長さんと2人で行って来ました。

セレモニーの後、田中ガバナーと岩淵地区ロータリー財団委員長のご挨拶がありました。田中ガバナーからは、「東日本大震災で被災された26のクラブが解散もしていなければ、新しい会員も入会している。」こと。岩淵パストガバナーからは「ロータリー財団について」のお話があり、「ちょうど今、財団本部から新地区補助金使用についての認



可がおりた」という事を告げられました。4月30日に地区締め切りの新地区補助金が、7月に入ってからやっと実行される。ということですから、次年度も2月中旬に財団委員会が開催されると思います。基調講演は「私とロータリー、東日本大震災に対する世界からの支援」というもので、盛岡北RCパスト会長 田口絢子さんが講演されました。ご主人が仙崎ガバナー年度に当地区の「地区大会」RI会長代理としてお出でになりました。その奥様であります。震災当時クラブ会長をされ、3月第三例会から「クラブ休会」をして、会長自ら地域のクラブに震災の見回り・救援等ご主人と二人してその職務を全うされ今日に至っている。ということで、当地区からの被災地に対する支援のお礼も述べておられました。

ロータリー財団部門委員長の植野正裕さんは、地区の財団部門は6委員会より構成されていること。パイロット地区として、今年度で3年目を迎えること。三國年度から田中年度で2万8千ドル程新地区補助金が減少していること。新地区補助金とグローバル補助金の概略説明。公益財団法人ロータリー日本財団が認定され、財団への寄付金が税制上の優遇措置が認められることになったこと。などを話されました。

ポリオ・プラス委員会は、「ポリオ撲滅との関わりについて」1979年9月、フィリピンで生後3か月から36か月の子供約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動が始まりであること。2億ドルチャレンジについては、2012年1月17日に2億260万ドルの寄付を集め、目標を達成したこと。ポリオ撲滅運動は、ロータリー財団の指針に基づき展開する事。クラブ会員一人当たり30ドルを寄付目標額とすること。を話されました。

補助金委員会は、その役割と責務について話され、新地区補助金及びグローバル補助金の実施と、国際問題研究のためのロータリー・センターへの参加を推進し、奨励すること。特にグローバル補助金の運用・活用を各クラブに広報し、地区とクラブの連携を強化していく事を話されました。

財団学生・平和フェロー・学友委員会は、ロータリー財団派遣奨学生（新地区補助金を使用する場合とグローバル補助金を使用する場合）について、その資格条件と派遣学生について。冠名奨学生の派遣はないこと。受け入れ財団奨学生がないこと。平和フェロシップについては、このプログラムへの応募者を募集していること。最近の派遣・受け入れ学生。第2770地区ロータリー平和フェロー基金の設立について。ロータリー財団学友については、ロータリーのプログラムの元参加者を全て含んだ関係者であること。現況は、世界で11万7千5百名、日本で約8千名であること。学友による新クラブ創設の方向性について。などが話されました。

職業研修チームは、GSEがVTTに変わったこと。インド第3000地区との交換事業が二年度に亘ったこと。本年当地区の地区大会にインド第3000地区のVTTチームが派遣される予定であること。受け入れの際は皆様のご協力をお願いしたいこと。を話されました。

新地区補助金運営委員会は、地区補助金について。地区補助金の支給額について。地区補助金の支給クラブの決定について。補助金対象プロジェクトについて。補助金利用に関する基準及び制約について。それぞれ説明がありました。

資金推進委員会は、年次寄付目標（年次寄付 200ドル・ポリオ・プラス寄付 30ドル）会員一人当たり合計 23

0ドル。恒久基金目標（一クラブ当たり ベネファクター1名、会員50名以上のクラブ ベネファクター2名）を。との話がありました。

なお、卓話者・講師派遣依頼申込書は早めに出してほしい旨。ロータリーカード入会のお願い。税制上の優遇措置。等の話がありました。

午後5時閉会。地区青少年交換委員会の行事参加のため、石野副委員長さんとは与野駅で解散となりました。

## スマイル報告

馬君、来月は米山月間です。米山奨学生として、感謝の念をもって活躍してください。

第8グループガバナー補佐 越谷北RC 関森 初義様  
越谷北RC 関森ガバナー補佐、ようこそ。

岩淵、小林、中島、石田、藤田、池田、石野、石野、飯泉、瀬尾、佐藤（太）、加藤、荒井、水町、本田、

セミナー報告ありがとうございました。

岩淵、染谷、吉田、浅水、中野、神谷、深井、石塚、糸賀、中尾、岡田、長谷川、中村、

安倍新総裁ガンバレ！ 二川  
会長挨拶の越谷の歴史はためになります。 佐藤（陽）  
佐藤（太）出席委員長、越谷中RCのMUツアーありがとうございました。 清村  
みなさんご無沙汰しております。涼しくなりましたので、お体に気を付けてください。 黄  
申し訳ございません。早退します。 仁多見  
遅刻しました。 遠山

## 出席報告

例 会 日	平成24年9月27日		
会 員 数	52名	出席	33名
出席免除者	12名	欠席	14名
出席率	82.50%	前々回MU	3名
MU修正率	92.50%	会報担当：本田	

————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区  
台中南区扶輪社（中華民国台中市）

☆例 会 日 毎週木曜日（PM0：30～1：30）

☆例会場・事務局 〒343-0842  
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階  
TEL 048-987-5761  
FAX 048-987-5762  
E-mail info@koshigaya-south-rc.jp